さがみはらの未来をひらく教育考房

さがみ風っ子教師塾

さがみ風っ子教師塾は、３月６日に第２ステージを終了し、３月２０日から指導案や学級経営案をつくる第３ステージに入ります。

第２ステージで塾生は、「課題学習」に取り組み、各自のテーマで研究レポートを作成しました。子どもにかかわる問題に気づき、「子どもにとって何をすればいいのか」を探り出すために専任講師やクラスの仲間と繰り返し協議をしていました。塾生には、新たな「気づき」「問題の焦点化」など試行錯誤しながら多様な見方、考え方の大切さを実感して欲しいと期待していいます。また、その後、パネルディスカッションや塾長や外部講師による講話を聞きながら「子ども理解」の本質について考えを深めました。

たびたび、的川塾長は、塾開催日に会場を訪れ、各教室で塾生と様々な事について話をしています。塾長は、各塾生の相談に真剣に応対したり、レポートを読んで感想を話したりと交流を深めていました。

第二期教師塾の概要

□募集人数　小・中学校あわせて５０名
□募集期間　平成22年７月１日～８月６日
□選考日　平成22年８月２８・２９日
□入塾日　平成22年１０月　２日
□卒塾日　平成23年　６月１８日
□受講料　１０，０００円
※４月１日に募集要項が出ます。日程等ご確認ください

第二期入塾説明会

第１回　平成22年２月28日（日）午前10時
第２回　平成22年３月26日（土）午後７時

学社連携・協働の動き　PART27

学校支援ボランティア

情報交換会・研修会を開催しました

２月２５日と３月４日の２回にわたって、市内の小中学校で学校支援ボランティアの活動をしている方を対象に、情報交換会と研修会を行いました。

情報交換会では、前半は事例発表を行いました。上溝小学校でボランティアをされている方と、大野北小学校でボランティアに関する調整・連絡役を担っている方に発表していただきました。グループに分かれての情報交換では、子どもと関わることの喜びややりがいとともに、

・一人ひとりの子どもに合わせた対応の難しさ
・教職員との意思疎通の大切さ
・保護者だけでなく、地域からも人材を募ることをしていくべき

など、よりよくしていくための多くの意見が出され、今後の活動につながる有意義な会となりました。

研修会では、ＮＰＯ法人ワンダートンネル橋本発達センター所長の千谷　史子氏に「子ども理解」についての講演をしていただきました。

「今の子どもは大人との出会いが少ない」というお話から、ボランティアは何かを教えるとか手伝うということだけでなく、子どもに関わるということそのものに大きな意味があるのだということを参加者の皆さんは感じたようです。また「困った子」ではなく、「困っている子」ととらえて、その子に寄り添い、肯定的共感的に接することが大切だというお話も、参加者の皆さんの心に残ったようです。

この会を通して、「相模原市内には、子どもと学校を応援してくださる方がたくさんいる」ということを改めて感じました。